

令和7年度 沙流川流域水害タイムライン運用訓練



訓練の様子(平取町災害対策本部)



訓練の様子(日高町町災害対策本部)

今年度の出水期を前に、沙流川流域水害タイムライン試行版(令和2年12月策定)を基に、主自治体である平取町・日高町および、各関係機関の職員がタイムライン運用における認識の共有と習熟の向上を目的とした参画機関全体による運用訓練を実施しました。訓練では、沙流川流域水害タイムライン表の記載内容や運用手順、情報の共有方法等について確認を行いました。

【実施日時】 令和7年8月4日(月)13:30~16:30

【開催形式】 オンライン形式(Microsoft Teams)

【参加機関】 平取町

日高町

室蘭開発建設部

胆振総合振興局室蘭建設管理部

門別警察署

東日本電信電話株式会社北海道事業部

平取町建設協会

日高西部消防組合

室蘭地方気象台

日高振興局地域創生部危機対策室

北海道電力株式会社日高水力センター

計 11機関 71名

開 会 挨 拶

平取町まちづくり課 山田課長

「タイムラインを策定以降、平取町では大きな水害は起きていないが、近年の気候変動の影響で、水害発生割合や土砂災害発生割合が統計的にも明らかに増えている。このことは、我々も体感で実感しており、それが未曾有の大災害につながる可能性があるということと、命を守る行動に素早く切り替えるというところを意識して訓練に臨みたいと考えている。」



平取町 山田課長

日高町総務課 森谷課長

「昨今の気候変動により、当町においても災害がいつ発生してもおかしくないと危機感を感じている。タイムラインの完成後、幸いにも大きな被害をもたらすような洪水は今のところ発生していないが、その反面、タイムラインの使用実績がないゆえに、防災行動が整備されていない部分も多い。本日の訓練を通じて今一度、タイムラインの運用について確認し、万が一の事態に備えていきたい。」



日高町 森谷課長

訓練

訓練では、タイムラインのステージ1がすでに立ち上がっている場面から始め、平取水位観測所で「氾濫危険水位」を超過するまでをシナリオに沿って進めました。各関係機関は、付与される状況や発表情報を訓練用の情報共有サイトで確認し、タイムライン表の記載内容に基づいて、必要な情報伝達を実際と同じ方法で実施・記録しました。さらに、行った対応や得られた情報を情報共有サイトのメッセージに入力し、全機関で共有しました。

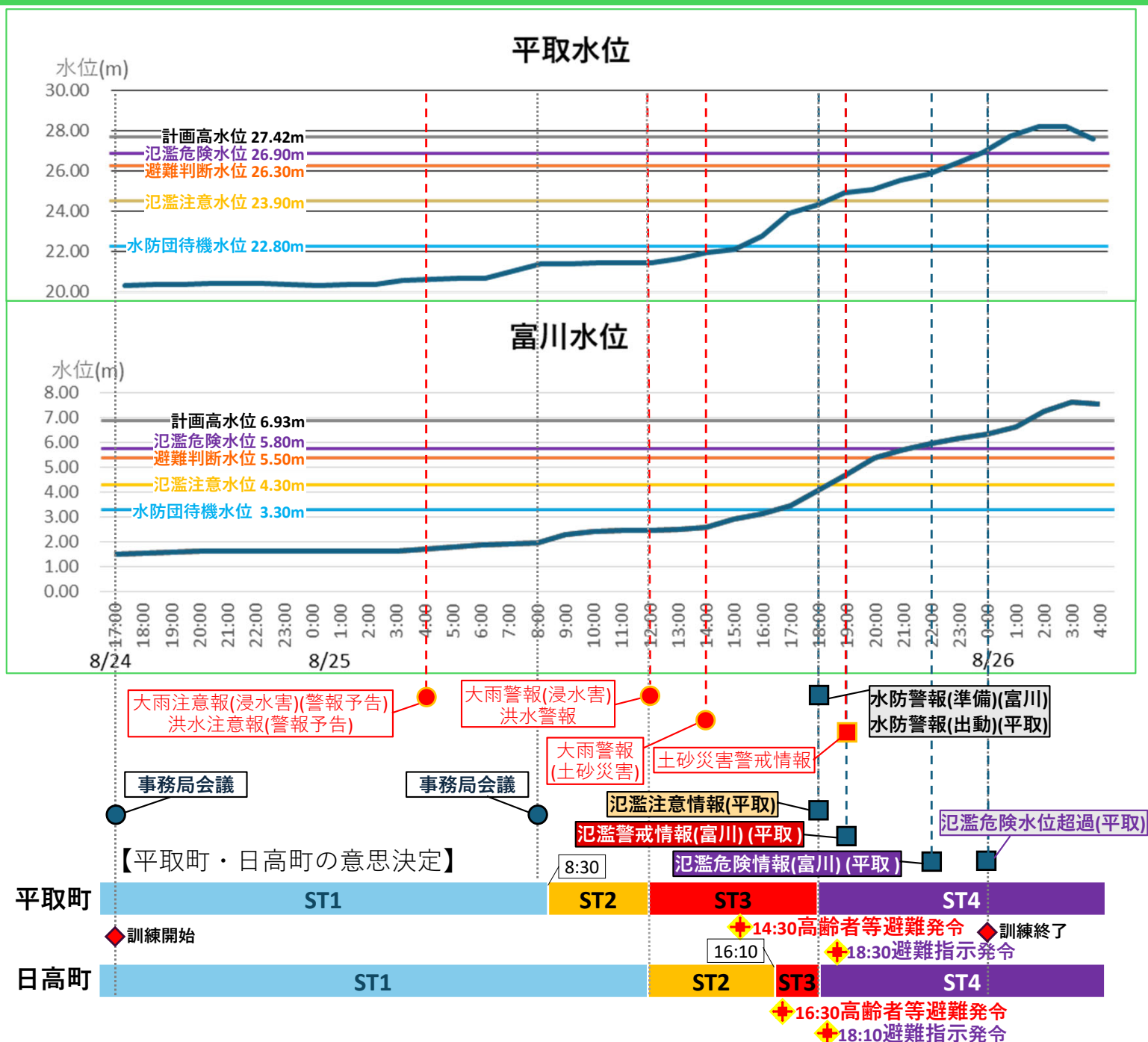


訓練の様子(平取町災害対策本部)



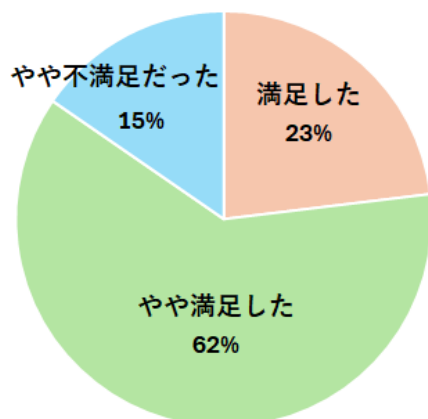
訓練の様子(日高町災害対策本部)

訓練シナリオと各町の意思決定の結果



訓練アンケート結果より

訓練について



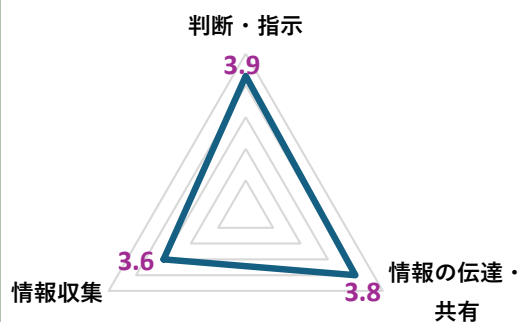
満足・やや満足と答えた理由 (回答より一部抜粋)

- ・実際の災害時に向けて、関係機関の動きを想定することができた。
- ・必要な情報の収集・提供をある程度確実にこなせた。
- ・ステージに応じた行動項目を改めて確認できた。

やや不満と答えた理由 (回答より一部抜粋)

- ・少しテンポが悪かった。
- ・発災時の動きを想定する機会となり良い経験ではあったが、本番ではシナリオには無かったダム上流区間や支川での発災も想定されるため、町内全体を通した訓練とはならなかったため。

自己評価の全体平均(5段階評価)



訓練で見つかった課題や改善が必要な点 (回答より一部抜粋)

- ・国道の通行規制の区間を決めるのに、避難地区を明示してほしい。
- ・連絡体制や維持業者への指示などを考えると今回の防災対応は2名体制ではきびしい。
- ・行うことの共有化が図りきれず各機関対応担当者はそこだけに労力をとられて現場が見えない状況にあったと思うので、庁内役割分担の再徹底が必要かと思う。
- ・改めてタイムラインにおける動きを再整理する必要がある。
- ・警察が機能移転することや各町の体制構築のタイミングがわかって良かった。

情報共有サイトのメッセージを活用した情報共有について (回答より一部抜粋)

- ・各機関が持つ最新情報を共有でき効率的である。
- ・実際に水害が起きた際に、関係機関との連絡や町内の情報収集に多くの人員を配置できないと感じた。
- ・メッセージの情報から各機関の対応状況を知ることができ、その情報から対応しなければならないことが分かったりするので、関係機関の連携の補助として役に立つと思います。
- ・情報共有サイトの上段に各町のタイムラインステージが分かるように記載した方が良い。
- ・各担当者で手分けして入力できる様に訓練者数を増やし実施することで本当に活用できると考えます。防災担当だけだと回らず後手に回ることになりかねない。
- ・機関関係なく表示されるためやや見づらいのではと感じた。

講 評

「災害時に備えて、自部署の体制や対応を確認するだけでなく、他の関係機関がその時に何を考え、どのように行動しているのかを共有しながら協働できることも、タイムライン防災の非常に重要な役割だと思います。今回はそれぞれの部署で訓練を行いました。情報共有サイトのメッセージ等を通じて、他機関の行動についても確認できたのではないのでしょうか。本番において関係機関が連携しながらタイムラインを効果的に活用できるよう、今回の訓練結果を踏まえて、気づいた点をアンケート等にフィードバックしていただければと思います。」



志田アドバイザー